

根室市議会 12月緊急議会

緊急的な災害復旧と被災者支援の補正予算

2014年12月27日に根室市議会は12月緊急議会を開催しました。閉庁の土曜日に議会を開催するのは「ほぼ通年」議会となつてから、はじめてのことです。

今回は12月16日～18日にかけての急速に発達した大型低気圧の被害に対して、年内に緊急に対応すべき経費を補正予算21,480千円が審議、可決されました。また根室港の水産上屋のシャッター破損の修繕は、今回の緊急議会でも間に合わなかったため5,383千円が専決処分されています。

会議冒頭の長谷川市長の行政報告によると、今回の災害の被害総額はまだとりまとめの最中と前置きしながらも、これまでの積み重ねによる現時点の推計では、20億円を超える被害が推計されるそうです。また特に漁業水産関係の施設などについては、まだ十分に取りまとめられていないこともあり、さらに大きな被害額となることが推測されます。

今回の補正予算はあくまでも年内に対応するための緊急的な措置であり、年明け以降も、必要に応じて追加の補正予算措置が出てくるものと考えられます。

今回の補正予算の主な内容は、

- 災害見舞金 8,000千円 根室市災害見舞金支給条例に基づき被害区分や世帯構成に応じて今回は1世帯1万円～5万円の支給。被災地域を市の職員さんが1件づつ

状況を把握し、見舞金の支給では昨年内に間に合うよう職員が訪問して75件分を手渡しで支給したとのこと(補正予算は予備分含めて80件分を計上)。

- 中小企業振興施設補助金 4,392千円 緑町の広小路街路灯の配電盤など修繕、緑町振興組合事務所の備品。
- 商工業者高潮災害救済一時金 8,000千円 今回の高潮災害に限定した新しく策定した要綱に基づく支給。1事業者につき一律10万円の支給。災害見舞金と同じく市の職員さんが訪問して対象を把握し、現時点で対象として53件ピックアップされているそうです(今予算は予備分含めて80件分を計上)。12月29日・30日の2日間で28件を交付し、年明け後もさらに申請を受け付けています。
- 市営住宅維持管理経費 1,800千円 住宅被災のため一時避難的に市営住宅に入居されている方は現在3世帯です。その後の対応も含めて、今回の補正予算で新たに市営住宅3戸分を修繕するそうです。
- 道路橋りょう災害復旧事業経費 2,288千円
- 公立学校施設災害復旧事業経費 2,000千円

高潮災害を地域防災計画へ反映

今回の災害では、市職員や社会福祉協議会の方々を中心に多くの方々が、流入したがれきやごみの処理・家屋の片付けなど大変に尽力されている様子が印象的でした。

また、ごみ処理場の受け入れや市営住宅への入居、今回の補正予算のように災害見舞金・商工業者への一時金など、災害支援についても、かなり迅速な対応を市行政として行ってきたのではないかと思います。

今後の課題として、市の防災担当は今回の「高潮」のような災害はこれまでほとんど経験のないもので、地域防災計画でもマニュアル化されていないことから、高潮対策について地域防災会議の中で対応を進めていきたいとしています。

災害救助法適用の見通しは不透明

また、今回の災害が「災害救助法」の適用になるかどうかという点も課題としてあるそうです。

災害救助法の適用基準は、例えば「災害により市町村の人口に応じた一定数以上の住家の滅失がある場合等(例 人口5,000人未満 住家全壊30世帯以上)に行く」等となっています。

今回の根室市の場合は局所的な災害で被災地域が限定されていることもあり、道が指定する災害救助法の適用となるかどうかは、現時点では不明です。

適用にならなければ、今後の例えば被災した商店街の復旧に役立つ中小企業庁の支援事業に該当しないなど、国等の支援内容にも影響が出てくるのが懸念されるため、市側はこれらのハードルをクリアできるよう対応を進めていきたいとしています。

春国岱の木道は今回も大破

春国岱原生野鳥公園の木道は、道の設置部分と市の設置部分がありますが、双方ともに大きな被害を受けています。この木道は台風等の度に損傷し修繕が必要となっています。ただし市の設置しているでも、2008年の爆弾低気圧で損傷した箇所はダイヤドピアという丈夫な工法で作直されているため、今回の低気圧でもほぼ損傷なかったそうです。

市では今後どのような形で修復していくか事業者や振興局と検討していくそうですが、ある程度は災害に強い形になるよう抜本的な対策が必要です。

しかし財政的にも大きな負担になることが予想されます。そもそも風連湖・春国岱は道立公園であることをふまえ、こうした問題についても道が積極的な役割を果たしていくことが期待されます。

根室市で高潮被害の現場を視察 国へ支援を求める緊急要請

12月20日、日本共産党の畠山和也衆議院議員(党道政策委員長)、森英士氏(党道国政相談室長)らが根室を訪れ、特に高潮被害の大きい緑町商店街の店舗を視察し、お店の方々から被害状況や意見を伺いました。

商店街の各店舗の方々には「高齢化が進む中で、今回の被害をうけ、このまま元気が無くなって、商売を辞める店が出てくるのが心配」等とお話しされておられました。

特に年末を乗り切っていくため、当面の災害からの復旧を図り、生活の糧を得るための緊急融資の必要性を訴えておられました。また、これまでは管理者である根室市に莫大な財政負担が発生することから進展してこなかった根室港区の南地区の整備促進についても意見が出されていました。また根室市役所では、長谷川市長さん、石垣副市長さんをはじめ市職員の皆さんから詳細な被害状況の報告と国への支援を求める意見をいただきました。

これら現地での調査をもとに12月25日、畠山和也議員は紙智子参議院議員とともに、山中えり子防災担当大臣に対して根室市への国の支援を求める緊急要請を実施しています。

